

本格的な絵手紙に挑戦

絵手紙教室

青少年育成部会

大人顔負けの素晴らしい作品 続々

12月1日(土)青少年育成部会は、七つ池南ハイツの藤田真知子先生を講師にお迎えし、週五日制対応行事の絵手紙教室を八本松地域センターで行った。

今までの絵手紙教室は「はがき」に描く絵手紙だったが今年には「長半紙」に描く本格的なもの。集まった22名の児童や保護者の方としては初めての挑戦だった。藤田先生から筆の持ち方、輪郭の描き方、着色方法、字の書き方等絵手紙特有

の手法の説明を受け、丁寧な個人指導もあり、元気な絵や心のこもった絵など初めてとは思えない絵手紙の原点を見るような素晴らしい作品が次々と誕生した。描き終わって、先生から感想を聞かれると「楽しかった」「書くとき緊張しま

した」と答え、先生からは「みんなよく挑戦してくれてありがとう」と頑張った子どもたちをねぎらった。子ども達も「やればできる」という自信らしきものが出てきたようだ。



指導される藤田先生



素晴らしい作品！他にもあります

このセレモニーは、普段から「子ども見守り活動」に携わっておられる方が集まり、この取組の動機



シュプレヒコールをあげる参加者

こうした成果も励みとし、活動の継続が望まれる。

となった安芸区矢野西で発生した「木下あいりちゃん」事件を思い起こし、活動継続の力にしようとするもの。13年もの間、子ども達が事故や犯罪に巻き込まれなかったのも毎日通学路に立たれた多くの見守りの方のおかげである。特に、昨年7月6日の西日本豪雨後、復旧途中の地域(溝迫交差点付近)でも子どもたちが安全に通学できたのは、こうした地道な活動の成果である。

子ども安全の日 セレモニーで決意新たに
たゆまぬ見守り 西日本豪雨後も登下校の安全を確保

防犯部会



見守り(溝迫交差点付近)



見守り(溝迫交差点)

平成三十年度下期 夜の見回り活動

防犯部会

見回り異常を認めず



夜間パトロールに参加した有志(12月1日)

防犯部会は10月6日(土)、12月1日(土)、2月2日(土)の午後7時から小学校区内の防犯

のため夜の見回り活動を行った。この活動に参加したのは3回で延べ51人の有志。

延べ17台の青パトで校区内にある公園、広場、神社の境内、夜間営業の駐車場及び店内等で夜遊びする子どもや不審者がいないかパトロールを実施した。結果、全ての見回りで異常は認められず、大型店舗の聴き取りでも最近単身で行動する子どもや不審者は見られないとの回答であった。



夜間営業店舗内パトロール

八本松みなみ地区
自主防災会

年末特別警戒夜間パトロール

不審者等異常を認めず 狭い通学路改善等の問題提起

パトロールの反省会

地域の災害時対応の情報交換

八本松みなみ地区自主防災会(会長横井國興)は、12月29日(土)から2日間子ども達を含む延べ41名の参加者により恒例の夜の巡回パトロールを実施。この活動は平成26年から実施され今回で5年目となる。パトロール終了後、参加した子ども達は「安全を守ること



12月29日に参加した地域の有志(中央に子ども達)

は大変なことがわかりました。でも、楽しかったです」と感想を述べた。また、パトロールの報告では防犯灯が必要な場所、危険な側溝、狭い通学路の改善等地域の安全安心のための要望事項が提案された。さらに、7月豪雨の話題から、地域の災害時対応にも情報交換が行われるなど、参加者の連帯感の醸成にも大変有意義な夜間パトロールとなった。



反省会での情報交換(中央:横井会長)